

苦小牧のおいしい水道水『とまチョップ水』

苦小牧市の水道水は、昭和60年に厚生省(当時)の「おいしい水研究会」において、おいしい水道水の都市(人口十万人以上)の32都市の1つに選ばれ、名実ともに「おいしい水道水のマチ」として認められました。

苦小牧市をいつも見守っている樽前山。山麓に広がる森は、落葉や枯葉が幾重にもなつて降り注ぐ雨や雪をやさしく蓄えています。山は太古の昔から、山麓に砂やれきを堆積させています。

苦小牧の水道水は、その天然の精美なる過装置を通じてゆつくり旅をします。静かに浄化されながら炭酸ガスやミネラルが与えられ「おいしい水」が創られます。



私たちの生活に欠く事の出来ない水道水は、将来にわたつて守り続けなければならぬ大自然からの贈り物であり、市民の誇るべき財産であると言えます。

苦小牧市では、市民の皆様はもちろん、苦小牧を訪れる方々にもおいしい水道水を広く知っていただくため、水道水ボトルドウォーターによるPRを展開していきます。

これまでのボトルドウォーター

最初のボトルドウォーターは、平成19年度に作成し、第58回全国植樹祭での配布や中越沖地震被災地への支援物資として活用しました。



水玉模様をあしらったラベルを採用し平成24年度は、市内開催の各種会議などで配布しました。



苦小牧港開港50周年の平成25年度は、とまチョップを初めてラベルに採用し、50周年事業や市内開催の各種イベント会議などで配布しました。



大人気のとまチョップを引き続きラベルに採用した平成26年度は、市内開催の各種イベントや会議などで配布しました。



とまチョップ水の製作と取り組み

水道水ボトルドウォーターについて



は、平成26年度まで市内で開催される会議やイベント等に限って無償配布してきましたが、イベント等の参加者だけでなく、より多くの方々に水道水ボトルドウォーターを手にしていただけるよう平成27年度から販売をはじめとする新たな取り組みを行っています。

『とまチョップ水』ラベルには、日本で4番目のラムサール条約登録湿地であり、とまチョップが誕生したウトナイ湖の湖面で、とまチョップが楽しく踊りながらおいしい水道水をPRしているイメージが描かれています。

平成27年度は、市役所売店・道の駅ウトナイ湖・アルテンゆのみの湯・コトマ内苦小牧観光案内所の市内4カ所で販売され、市民の皆様をはじめ、市外の方々からも大変喜ばれています。苦小牧のおいしい水『とまチョップ水』を是非ご賞味ください。